

第1日 3月9日(火) 会場：北海商科大学

第2日 3月10日(水) 会場：北海商科大学

13:30 **開会あいさつ**
石森 秀三 日本コンベンション研究会 会長
(北海道大学観光学高等研究センター長)

13:40 **地元歓迎挨拶**

13:40 **基調講演**
『世界の潮流—環境配慮型コンベンション』
(英語・同時通訳)
エイミー・スパトウリサノ GMIC(Green Meeting Industry Council) 会長
コンベンションの「グリーン化」は、世界の潮流です。「グリーン・ミーティング」という新たなコンセプトに積極的に取り組み、世界をリードしている米国ポートランド発祥の国際的機関の代表が、環境配慮型コンベンションの現状について報告します。

15:10 **パネルディスカッション**
『新たなMICEをデザインする』
なぜ今、MICEなのか。それは日本の集客交流産業振興の中でどう位置づけられるのか。そしてその中で地域は何をすべきなのか。観光庁の担当官、コンベンション振興に取り組む民間実務家を招き、MICEという概念から集客交流産業を再定義します。
◆コーディネーター
小磯 修二 釧路公立大学 学長
◆パネリスト
竹原 勇一 観光庁 観光渉外官 (MICE担当)
小林 裕和 GMTツーリズム総合研究所 所長
藤田 靖 NPO法人コンベンション札幌ネットワーク 理事長

17:30 **研究(ポスター)発表**
・北海商科大学
・北海道大学
・立教大学 ほか

18:30 **交流会**
北海学園大学キャンパスレストラン「コスモス」
札幌市豊平区旭町4丁目 北海学園教育会館内

9:00 **ラウンドテーブルミーティング**

【第1分科会】
『韓国コンベンションの飛躍—日本が学ぶべきもの』
MICEコンセプトを国家戦略の支柱においたシンガポールを筆頭に、世界のコンベンションセンターを目指して躍進する東アジア。とりわけ韓国の著しい成長が注目を集めています。今、韓国に何が起きているのか。韓国の事情に精通した実務家を招き親しいライバルの動向を探りつつ、世界地図の上で地域のコンベンションを考えます。
◆コーディネーター
水野 俊平 北海商科大学 教授
◆スピーカー
東條 秀彦 MPI Japan Club 理事/
(社)韓国コンベンション協会 諮問委員
太田 正隆 ICSCコンベンションデザイン コンベンション総合研究所所長

【第2分科会】
『学びと観光—北海道からの発信』
社会の成熟化が進む中、従来の「周遊型観光」から人や文化などとの出会いを通じた自己実現を目指す「目的型観光」へのシフトが見込まれています。新たな観光創造の戦略として、洞爺湖有珠山ジオパークやワイン、炭鉱遺産など題材に、地域資源を目的型の観光資源としてどう活かしていくかを考えます。
◆コーディネーター
吉岡 宏高 札幌国際大学 准教授/
NPO法人炭鉱の記憶推進事業団 理事長
◆スピーカー
大島 直行 伊達市噴火湾文化研究所 所長
千石 涼太郎 北海道ワインツーリズム推進協議会 会長

【第3分科会】
『地域MICEの可能性—MICEイヤーに向けて』
2010年MICEイヤー。世界に向けて「MICE日本」を大いにアピールしようとするこのとき、地域では実際何ができるのでしょうか。展示会、インセンティブツアー、ビジネスミーティングなど、これまでの「コンベンション」に何を加え、どう取り組んでいくのか。その可能性を探ります。
◆コーディネーター
北見 幸一 北海道大学 准教授
◆スピーカー
浅井 新介 MPI Japan Club 会長
加藤 伸泰 ホテル大観荘(宮城県松島)販売課長
生井澤 幸雄 社団法人大阪国際見本市委員会 理事

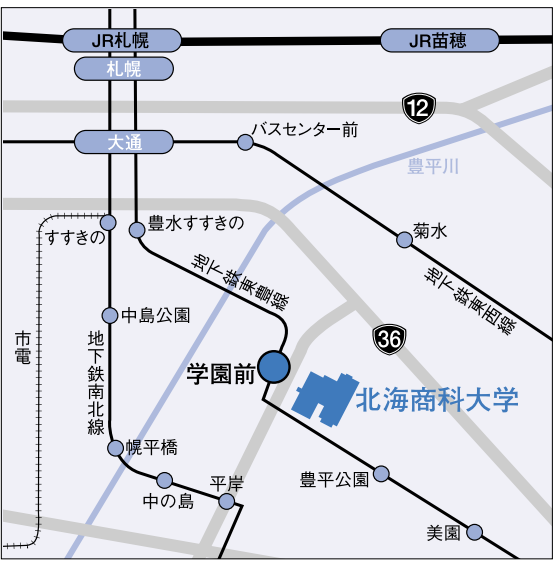
11:30 **総括**
【分科会報告】 各分科会コーディネーター
【総括】 石森 秀三 日本コンベンション研究会 会長

12:15 **閉会**

12:30 **エクスカージョン(オプション)**
ツキサップジギスカン(昼食)～札幌ドーム視察～スノーシュー体験等(予定)

17:30 **解散(札幌中心部)**

会場マップ
北海商科大学：札幌市豊平区豊平6条6丁目10番
(地下鉄東豊線「学園前」駅4番出口直結)



※講師は都合により、変更となる場合があります。